

渡辺よしまさの生き立ち

幼少期～大学まで



昭和30年に現在の市内東町に生まれる。チャンバラ大好き、末っ子長男の甘えん坊でした。



富士宮一中では、卓球部。坊主頭に裸足で白球を追っていました。



富士高では山岳部。1ヶ月に一度は山に登っていました。写真は南アルプス夜叉神峠（右端）。



高知大学では農学部で食品加工を学ぶ。オーケストラ部に所属し、日夜コントラバスを弾いていました。

政治に目覚める原点

平成9年に日本共産党入党。平成14年に富士宮市議会議員に初当選。現在4期目。政治を志す原点は、戦争反対、原発反対、経済効率最優先ではなく人間を中心の社会。

未来へ

誰もが安心して笑って暮らせる社会、どんな人も大切にされ、未来に希望を持って生きられる社会を、一緒に作りましょう。

家族は、妻と4男・1女の子どもたち
現在は、私、妻、娘の3人世帯

一緒にまちづくりを

災害対策

- ・大規模災害に備えて防災マップと防災訓練の見直し
- ・洪水被害や土砂災害を防ぐ河川・山林整備

医療・介護・健康づくり

- ・安心して払える国民健康保険税や介護保険料
- ・介護難民・医療難民をゼロに
- ・宮バス・宮タクなど公共交通の充実

子育て支援

- ・放課後児童クラブの充実
- ・保育料減免制度と奨学金制度の充実
- ・子ども学習支援などの居場所づくり充実

憲法の精神が息づく富士宮

- ・市民の願いを国・県に届ける議会
- ・憲法をくらしに活かす行政に

若者の声をまちづくりに

- ・地元の中高生、大学生、青年を計画づくりの中心に

働く人を応援

- ・本物の働き方改革
- ・中小業者・農業者の声を反映した地域経済振興策

人口減少社会に向けて

- ・医療介護の人材確保
- ・空家や耕作放棄地の対策
- ・公共施設やスポーツ施設の計画的整備

キリトリ

国政・市政・まちづくりなどについて、あなたのご意見・ご要望をお聞かせください